

所 報

◆ゼミナールの開催

昭和43年度広報啓発活動の一環として、第2回「アジアを見る眼」ゼミナールを虎の門葵会館において下記のとおり実施した。参加者は延べ約150人であった。

月 日	テ ー マ	講 師
5月28日 (火)	メコンとイラワジの間	当研究所動向分析部 今川 瑛一
	東南アジアと日本	朝日新聞論説委員 丸山 静雄
5月29日 (水)	海外投資と法律	当研究所投資資料調査室 桜井 雅夫
	フィリピンの経済	防衛庁装備局調達補給課長 生田 豊朗
5月30日 (木)	アジアの農業とその開発	当研究所調査研究部長 笹本 武治
	シベリア経済史	専修大学商学部教授 池田 博行
5月31日 (金)	ラテン・アメリカの経済	神奈川大学経済学部助教授 大原 美範
	アジア経済の未来像	当研究所経済成長調査部長 矢野 誠也

◆出版記念パーティの開催

研究所の長年の事業の一つであった「現代中国関係中

国語文献総合目録」(全8巻)の出版完了を機に、この事業に関係した所外協力者約50人を招き、出版記念パーティを開催した。研究所から小倉所長以下関係職員が出席し、その成果を祝した。

◆統計実務者会議の開催

5月10日(金)、コロンボ・プランに基づいて来日している開発途上国の統計実務者(アジア・中近東諸国23人)を招き、レセプションを開催した。研究所から久我理事と統計関係者が出席し、各国の統計活動やその整備状況について意見の交換を行なうとともに、相互の親睦をはかった。

◆海外からの来訪者

5月中の海外からの来訪者はつぎのとおりである。

(1) 5月20日, Dr. Kan Chen (Assistant Director, Systems Sciences, Stanford Research Institute, California), アジア太平洋地域協力に関する研究状況について意見交換のため来所。

(2) 5月21日, Prof. Nicholas J. Demerath (Professor, Social Science Institute, Washington University, Saint Louis, U. S. A.), 日印両国の技術, 経営格差の比較研究について意見交換のため来所。

(3) 5月27日, Dr. Aran Joshi (Director of Shri Ram Centre for Industrial Relations, New Delhi), インドの工業等について意見交換のため来所。

『アジア経済』次号予告

— 韓国農業特集 —

戦前の朝鮮農業の展開過程	笹本 武治
韓国の水利事業	谷 浦 孝雄
韓国における経済開発計画と鉄鋼業の育成	神 宮 滋
第2次計画下における農政の展開——農業計画の展開を中心として——	山 本 剛士
農産物需給に関する統計的分析	福 田 力
資 料	
韓国農業の問題点と農漁村開発公社の設立	篠 沢 恭助
書 評	
金俊輔著『農業経済学序説』	桜 井 浩
現 地 報 告	
韓国の農村	谷 浦 孝雄
韓国の農業労働力について	神 宮 滋
工業化への前進と当面する問題	上 田 宗次郎